

## 令和2年5月臨時部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和2年5月20日（水） 午前8時35分から午前9時54分まで
- ◇会 場 We b会議のため自席
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、長野市保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

### ◇会議内容

#### 1 協議事項

##### （1）令和2年6月市議会定例会提出議案について

###### ア 条例の改正等について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料1参照）

#### ○質疑なし

#### ○今後の方向性

原案を了承

##### イ 令和2年度6月補正予算（案）について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明し、協議を行った。（資料2参照）

#### ○質疑

〔市長〕 今回の補正予算の内容では、新型コロナウイルス対策関係の事業が少ないと感じている。現在、企業も個人も厳しい状況に置かれている。今後行われる国の第二次補正予算の編成を見据え、実施すべき事業を各部局で精査して案を出してほしい。

〔財政部長〕 このタイミングで、補正予算案に追加するのは難しいが、市長が言うとおりの追加事業を準備することは必要だと考えている。国の第二次補正予算は、第一次を上回る規模で編成される見込みであり、これに合わせて市内経済の回復策を準備するとともに、速やかに執行することが求められる。他自治体の例も参考に、ばらまきにならない内容で経済回復策を中心とした事業を庁内で取りまとめたい。

また、国の第二次補正予算が成立した頃に、追加の補正予算案を提出していきたい。

〔副市長〕 本市としては、5月1日の臨時会で議決いただいた内容が第一弾で、今回は第二弾となる。議会に対しては、これで終わりではなく切れ目ない対策を実施していくということを説明する必要があると考えている。追加の提案は、9月定例会まで延ばすと間が空き過ぎるので、臨時会の開催や専決処分も含め、議会と調整したい。

〔財政部長〕 聞くところでは、第二次補正予算の成立は6月17日頃とのことである。その前の閣議決定の段階で内容や規模が分かるので、6月定例会の最終日に提出するという事も考えられる。いずれにしても、事業がなければ始まらないので、それを精査する作業を各部局で早急に進めていただきたい。

#### ○今後の方向性

原案を了承

##### ウ 令和元年度3月専決補正予算について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明し、協議を行った。（資料3参照）

#### ○質疑なし

#### ○今後の方向性

原案を了承

## エ 長野市市税条例等の一部改正について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明し、協議を行った。（資料4参照）

### ○質疑なし

### ○今後の方向性

原案を了承

## （2） 公共施設の包括管理業務委託について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料5参照）

### ○質疑

〔財政部長〕一括発注となった場合、マネジメント料が発生するので、現状の委託料で発注できるか疑問。また、下請事業者を支払われる金額が減らされる、地元企業の受注が守られるのかといった点が不安である。この点を、サウンディングにおいて聞いていただきたい。現在導入している自治体は、小規模な自治体が多い。大きな規模の自治体で市内事業者に発注できるなら、一括でなくてもよいのではないか。

定期監査の意見については、自家用電気工作物や消防設備の点検業務など、施設ごとではなく一括発注すれば省力化できるという話である。業務ごとにまとめて発注することも考えていただきたい。

〔総務部長〕導入に向け課題はあるので、ご指摘の点については事業者との対話の中で話を聞き、検討したい。

〔市長〕制度導入により、職員のノウハウが失われてしまうのではないかと。また、初めはコスト削減になるが、競争原理が働かないことで価格が上がるということがないように配慮すべき。

〔副市長〕想定される対話の相手先として挙げられている協会等との随意契約を考えているのか、競争入札とするのか。

〔総務部長〕一括発注となるとマネジメントが必要になるので、協会等で対応できるのか対話を行い、どのような事業スキームにするのかを考えたい。

〔副市長〕職員の負担軽減という意味で、方向性としては良いと思う。しかし、協会に加入していない市内事業者もある。このような課題も踏まえて検討してもらいたい。そして、それぞれの業務ごとにまとめるなど、できるだけプロポーザルによる随意契約は避け、競争入札としてもらいたい。

〔財政部長〕近年、プロポーザル方式の契約が増加しているが、職員自ら事業を立案しないとノウハウが失われるばかりで、最終的には事業者の言いなりになってしまうおそれもある。選定方法も、検討いただきたい。

〔総務部長〕ご指摘の点を踏まえて考えていきたい。

### ○今後の方向性

原案を了承

## （3） 水道料金見直しスケジュールの変更について（上下水道局）

標記事項について、上下水道局長から説明し、協議を行った。（資料6参照）

### ○質疑

〔財政部長〕現在の状況が落ち着けば、今年度後半からでも議論を始めてよいのではないかと。水道料金の見直しは非常に大切なことなので、これ以上遅れが出ないよう確実に進めていただきたい。

〔上下水道局長〕ご意見を踏まえ、早めに行えるよう検討する。

### ○今後の方向性

原案を了承

以上